

2022
令和4年度

市政方針

2月25日、令和4年度第2回豊岡市議会定例会で、関貫市長が2022(令和4)年度の本市のまちづくりと市政運営にあたる所信を表明しました。
なお、市政方針を含む市長総括説明の全文は、市ホームページをご覧ください。



3月議会定例会開会日に来年度の市政方針を説明する関貫市長

引き続きコロナ対策に

最大限の注力

これからのウィズコロナを意識し、コロナ対策を万全に行い、同時に市民の皆様が「住んで良かった」と感じ、平穏な日々の暮らしを守ることが出来るまち、心地よく、安心して生活を送ることが出来るまちを目指す市政を進めます。コロナ禍のこの2年、これまで経験したことのない状況が続いています。多くの個人事業者、企業が大きな影響を受け、国も自治体も懸命に対策に注力していますが、市の最大の使命は市民の命と健康、暮らしを守ることと考えます。引き続き、新型コロナウイルスに最大限の力を注いでいきます。

地方創生、人口減少対策にも

より一層注力

併せて、持続するまちづくり「地方創生」人口減少対策「に、より一層の注力をし、

取り組みます。

この2年間で、世の中の意識、動きが変わってきました。人口集中、安価を求めた生産拠点の海外進出などの弊害が強く現れ、地方分散型テレワーク、生産拠点の国内回帰などが進められようとしているのが見えます。地方創生の進め方も、選択肢が増えていくように見えます。世の中の変化を敏感に捉えつつ、本市のまちづくりを進めます。

2022年度は本市にとつての「DX(デジタルトランスフォーメーション)元年」と位置付けています。市政の効率化、住民サービスの向上を目指すことはもとより、地方創生の一役を担うべくDXの推進を進めていきます。そのためにも、本市のDX推進の推進力を増すべく、4月からデジタル庁へ職員を派遣します。

2020年の国勢調査に基づく、若者回復率の新しい数値ができました。男性は41・6%で10・6ポイントダウン、女性は28・5%で1・8ポイントアップです。十分な分析はまだできていませんが、人

口減少問題を考える時、重要なポイントであります。改めて内容改善に向け、地方創生の取組みを強化します。

DX推進に合わせ

経済対策に取り組む

先ほど述べたように世の中の意識、動きが変わってきています。ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、今後の豊岡市の目指すべき経済の姿、それを実現するための方向性を定める新しい「経済ビジョン」を策定し、持続するまち、まちのDX推進に合わせた次の豊岡をつくるべく、経済政策に取り組みます。

5月には市長就任2年目となります。これまで、ゼロからのスタートでいろいろなことを学ばせていただき、いろいろなことを経験させていただきました。そのため、またコロナ禍であったということもあり、内部での行動がほとんどでしたが、今後は、コロナ禍の状況を見つつ、市民の皆様と触れ合う場をより多く持ちたいと思います。

※本紙に掲載している情報は編集時点(3月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

人々の日々の暮らしを支える 豊岡市DX元年 ～一歩ずつ前へ～ 2022年度 予算案

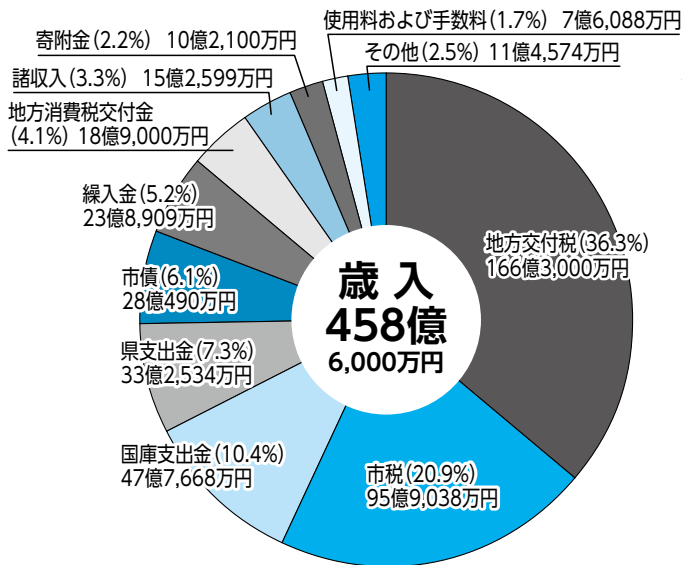
〈問合せ〉

財政課 ☎21-9014

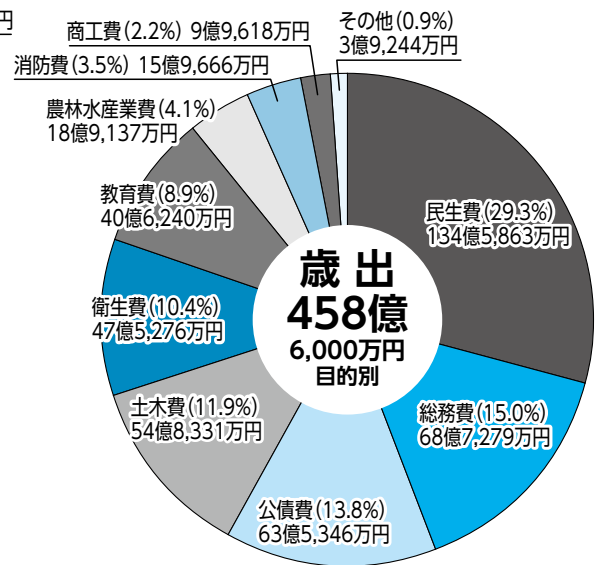
一般会計予算 458億6,000万円、4.3%の減

2022年度予算については、人々の日々の暮らしを支えることを市政の基本としながら「豊岡市DX元年～一歩ずつ前へ～」を打ち出し、予算編成しました。教育や福祉、土木など、市の基本的な行政運営経費を経理する一般会計は総額458億6千万円、前年度当初予算と比較して4.3%の減としました。

歳入の内訳



歳出の内訳



基金から14億円取り崩し収支均衡を保つ

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた経済の回復傾向が見込まれることから、市税は6億713万円(6.8%)の増、地方消費税交付金は1億5,144万円(8.7%)の増としました。

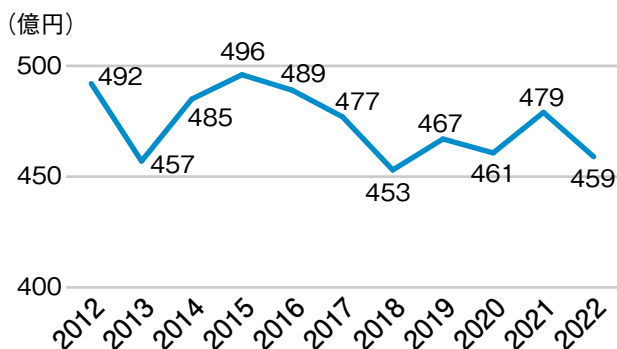
なお、市政推進のため必要不可欠な事業予算を計上しましたが、歳出に見合う財源が不足したため、財政調整基金から14億円を取り崩し、収支均衡を図っています。

社会保障費の増加に伴い増え続ける民生費

民生費は、障害者(児)自立支援給付事業費等の増加により4億3,170万円(3.3%)の増、農林水産業費は、特産物集出荷施設整備事業、基幹農道維持管理事業等の増加により2億6,350万円(16.2%)の増としました。

一方、総務費は、専門職大学連携推進費の減額により8億9,022万円(11.5%)の減、消防費は、高機能消防指令センター整備等の終了により7億1,246万円(30.9%)の減としました。

一般会計当初予算の推移(過去10年間)



過去10年間では、14年度から16年度まで北但ごみ処理施設整備等により予算額が増加しました。21年度も、子育て支援総合拠点等整備事業、高機能消防指令センター整備事業、専門職大学への寄付などにより予算額が増加しましたが、22年度は、13年度と同程度の予算規模です。